

様式第23号（第5条関係）

令和 6 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市横島1388番地1
協議会名	横江・美の浜まちづくり協議会
協議会長名	会長 齋藤秀良

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 5 年 6 月 1 日付け笠岡市指令協第 277 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 変更交付申請額 246,479 円
(交付金決算額)

[内訳]

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
250,000	246,479	0	3,521

2 交付金が減額変更になった理由

経費節減に努めた。

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 横江・美の浜まちづくり協議会

活動No	1
活動名	環境整備
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	春秋年2回の3地区合同で草取りや清掃活動を行うことで地域住民ふれあいの場を作ると共に綺麗で住みやすい町作りを目指す。
【効果】	担当地域の草取りや清掃作業をご近所の方と一緒にすることでコミュニケーションの場となる。地域の美化を図ることができる。

2 実施期間

令和 5 年 5 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日
 (計画期間 年中 年目)

3 実施場所

横島・入江・美の浜の地区内

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 2508 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 8 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 2,500 人（イ）
 ○団体： (団体名) , (団体名)
 (団体名) , (団体名)

5 実施内容

3地区内の公園・広場・げし・氏神様の草取りや清掃を実施する。

6 決算額

246,479 円（うち交付金分 246,479 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	ご近所の方と一緒に草取りや清掃をしながらおしゃべりすることで顔見知りとなりお付き合いが広がった。
【課題】	一時的には綺麗になるが、ごみのポイ捨ては依然として減る事がないのが現状である。活動の継続を必要とする。

様式第25号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 横江・美の浜まちづくり協議会

活動No	1
活動名	環境整備

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 250,000	246,479	3,521	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	250,000	246,479	3,521	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	250,000	246,479	3,521	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	250,000	246,479	3,521	決算額のうち市交付金分 ② 246,479

市交付金の余剰金 ①-② 3,521 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 3,521 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 1

協議会名	横江・美の浜まちづくり協議会
活動名	環境整備

活動目的	春秋年2回の3地区合同で草取りや清掃活動を行うことで地域住民ふれあいの場を作ると共に綺麗で住みやすい町作りを目指す。
実施内容	3地区内の公園・広場・げし・氏神様の草取りや清掃を実施する。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	4
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	4
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 ご近所の方と一緒に草取りや清掃をしながらおしゃべりすることで顔見知りとなりお付き合いが広がった。	現状と課題 一時的には綺麗になるが、ごみのポイ捨ては依然として減る事がないのが現状である。 活動の継続を必要とする。
--	---

今後の活動の方向性・改善策

現状のままで良いと考える。地域住民一体となりコミュニケーションも図れる場所であり今後もますます工夫を凝らしていく。子供さんからお年寄りまで活動できることである。事故がないようにしていくことが課題である。